

見守りシステムの概要

《背景》

- 高齢者の割合は年々増え続けています。
- 老老介護や家族介護には限界があります。
- 人的見守りには限界があります。
- 孤独死・孤立死の増加

このような問題を解決するために、「新世代の複合センサーによる見守りシステム」を活用し、生活行動パターンを確認・見守ります。高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる仕組みです。

みんな元気で長生き

- 玄関の段差でつまづき、動けなくなりました。
- トイレで気分が悪くなり、動けなくなりました。
- 畑に出かけたが、疲れてしまい家に帰れない。



誰も助けにきてくれなかったら、私はどうなってしまうのか。こんな時、見守りシステムは皆さんのお役に立ちます。

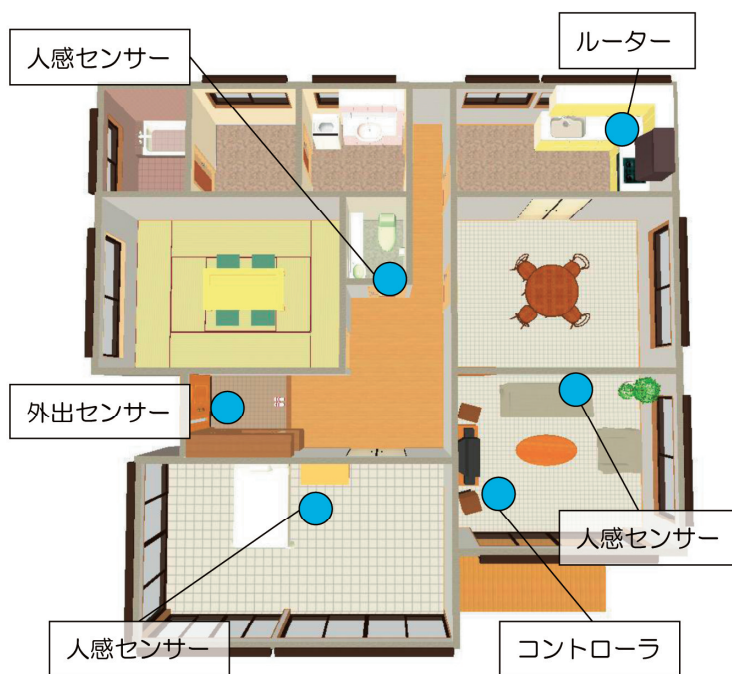
ほんとに大丈夫？

- 住宅内に、人の動きを検知する「人感センサー」と、玄関に人の外出を検知するセンサーが設置されているので、部屋の中で一定の時間動きがなければ、異常を発報します。
- 家族の携帯(連絡先)にメールなどで異常を伝えるため、安心できる人に優先的に見守ってもらえます。
- 異常発報時には、家族の皆さんの携帯電話(スマートフォン)などにメールでお知らせするほか、地域の皆さん『みまもり・笠置「ほっと君」』、むすびグループなどと連携して、安心してひとり暮らしができるようサポートします。

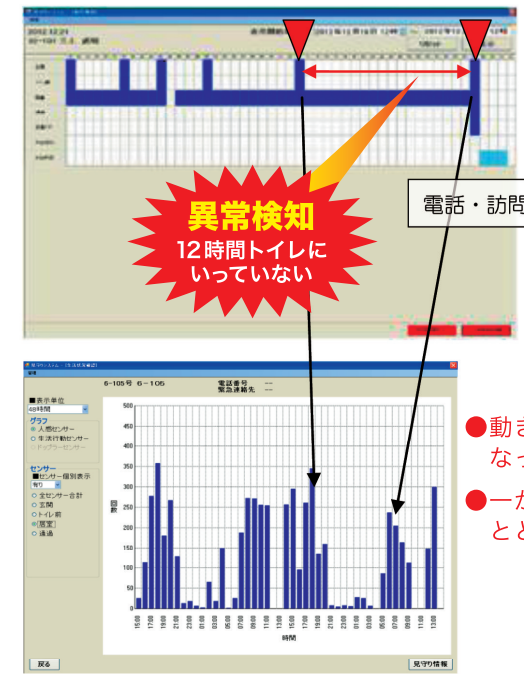


センサーによる見守りシステム

人感センサーと生活行動センサーを複合した「複合センサーユニット」の設置により、異常の検知と健康状態の把握や状況把握の時期までが表示できます。

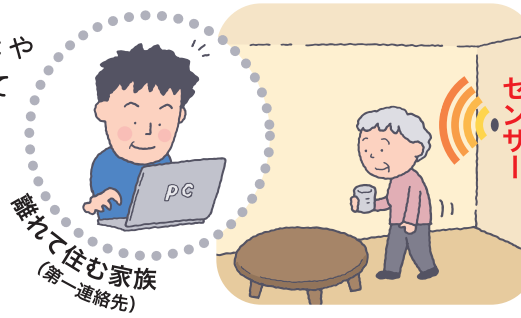


- コントローラー…光モデムに近接して設置
- 外出センサー…玄関に設置 (ドアセンサー)も設置
- 人感センサー…トイレ(12時間いかなければ異常) 居間(活動状態の検知) 寝室(睡眠状態の検知)



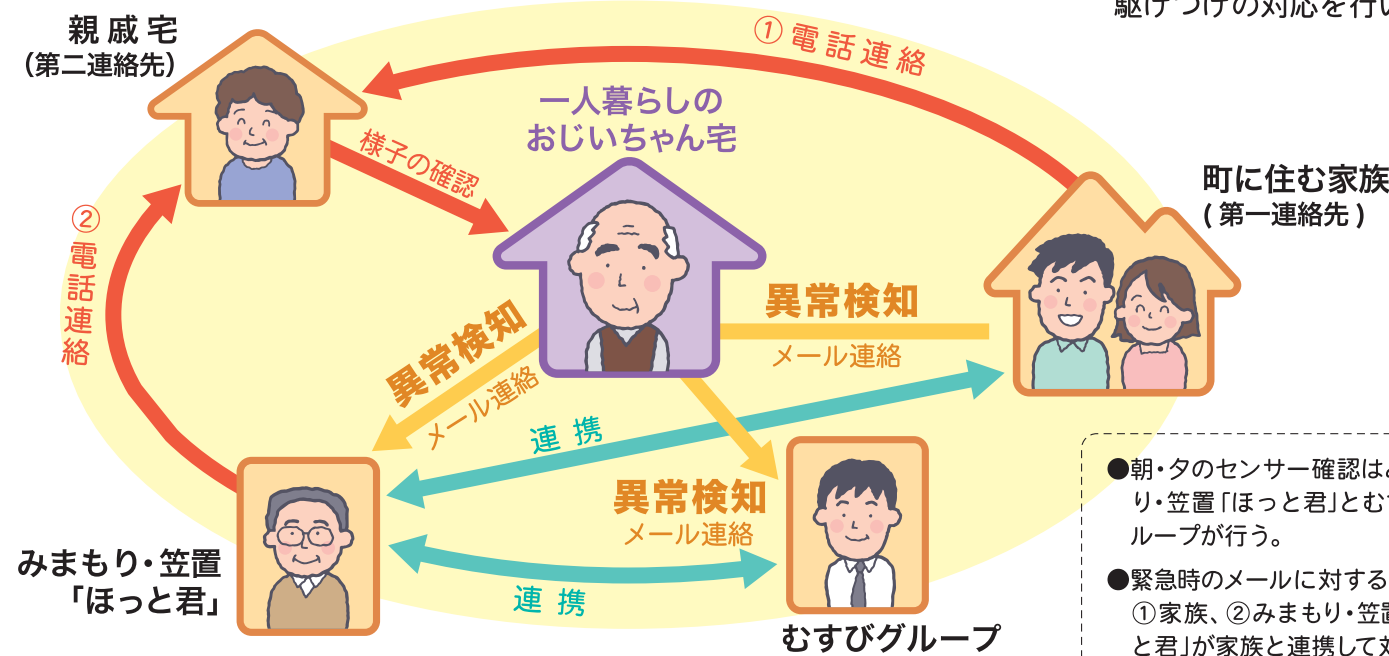
- 動きが少なくなっている
- 一か所にとどまっている

見守る人もPCやスマホを使ってグラフを見ることが出来る



連絡体制図 (イメージ)

見守り安心登録カードの連絡順や見守られる人の病状に合わせて、連絡体制図やルールを明確にして、連携を取りながら、見守りや駆けつけの対応を行います。



- 朝・夕のセンサー確認はみまもり・笠置「ほっと君」とむすびグループが行う。
- 緊急時のメールに対する対応は、①家族、②みまもり・笠置「ほっと君」が家族と連携して対応

簡単

- カメラと違い人感センサーなので、今までと同じ生活が出来ます。
- 簡単な工事で済みます。

※カメラでの監視ではないので、ご家族の方が生活の様子を確認することはできません。

安心

- 異常があった時は、家族が確認できるので、連絡網を決めておけば、知っている人が駆けつけてくれます。
- 安心カードを作るので緊急事態が発生した場合にすみやかに対応できます。
- 見守りあんしん登録カードで、皆さんに安心・安全を提供します。

見守りあんしん登録カード (イメージ)

① 登録日		平成 年 月 日	受付者
2	申込者指名(フリガナ)	()	
3	生年月日	明・大・昭・平 年 月 日生 歳	
4	住所		
5	連絡先	自宅電話	携帯電話
6	同居者氏名(フリガナ)	() 続柄()	
7	同居者生年月日	明・大・昭・平 年 月 日生 歳	
8	第1緊急連絡先	氏名	ご契約者との関係
		住所	
		連絡先	自宅電話 携帯電話
		鍵を預けて	いる いない
9	第2緊急連絡先	氏名	ご契約者との関係
		住所	
		連絡先	自宅電話 携帯電話
		鍵を預けて	いる いない
10	かかりつけの病院	病院名	担当医
		主な病歴・入院歴等	
11	介護度	未 支1 支2 介1 介2 介3 介4 介5	
		ケアマネジャー事業所	担当
12	民生委員	氏名	
13	自治会加入の状況	1 加入している 2 加入していない	
14	その他	1 1人暮らし 2 高齢世帯 3 日中独居 4 障害/介護/乳幼児	

※ 裏面に続く